



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月2日

上場会社名 株式会社ダイドーリミテッド 上場取引所 東 名  
 コード番号 3205 URL http://www.daidoh-limited.com/  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 安江 恵  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 福羅 喜代志 (TEL) (03)3257-5022  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	6,039	△2.7	26	—	△117	—	896	—
22年3月期第1四半期	6,209	△10.7	△37	—	113	—	58	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	26.07	25.97
22年3月期第1四半期	1.67	1.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	55,845	25,351	45.0	730.94
22年3月期	57,613	26,284	45.2	758.16

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 25,125百万円 22年3月期 26,061百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	20.00	—	23.00	43.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	20.00	—	23.00	43.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期 (累計)	12,000	△3.2	△300	—	△450	—	△50	△1.45
通 期	25,800	△1.9	750	48.3	950	68.7	650	—

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : ・無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : ・無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : ・無

② ①以外の変更 : 有・

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

23年3月期1Q	37,696,897株	22年3月期	37,696,897株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	3,322,615株	22年3月期	3,322,553株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

23年3月期1Q	34,374,291株	22年3月期1Q	35,080,190株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	P. 3
2. その他の情報.....	P. 3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	P. 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	P. 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	P. 4
3. 四半期連結財務諸表.....	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書.....	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	P. 9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結期間(平成22年4月1日～平成22年6月30日)におけるわが国経済は、輸出の増加等一部に景況感の改善が見られましたが、実体経済の低迷による厳しい雇用・所得環境が続いており、個人消費は引続き冷え込んだ状況で推移いたしました。

衣料品業界におきましても、景気の先行き不安や雇用情勢の悪化、所得の伸び悩みなどで消費マインドは冷え込み厳しい状況が続きました。

このような経営環境が続くなか、当社グループは「お客様第一」「品質本位」の企業理念を基に事業改革をすすめておりますが、当第1四半期連結期間(平成22年4月1日～平成22年6月30日)における衣料品事業の中国工場群におきましては引き続き経費の削減・生産の効率化を進めているものの、受注生産量の回復が思わしくなく低調に推移いたしました。

衣料品販売部門の売上高は、婦人服が前年同期を3.8%上回ることができましたが、紳士服はほぼ前年同期と同じ水準にとどまりました。

OEM(相手先ブランドによる製造卸)・ニットにつきましては、昨年同期を大きく下回り非常に厳しい状況が続きました。

当第1四半期連結期間の販売状況は厳しい状況でありましたが、一昨年来進めております在庫の圧縮による効率化・製造経費の削減により売上総利益率は、前年同四半期55.1%から2.4ポイント改善され57.5%となり、販売費及び一般管理費の削減により営業利益につきましては、前年同四半期に比べ改善することができました。

連結経常利益の減少は、2010年4月1日に実施いたしましたグループ子会社の組織再編に伴う不動産の移転登記費用212百万円等の計上によるものです。

また、連結四半期純利益は、資産除去債務にかかる特別損失149百万円を計上いたしましたが、グループ組織再編による繰越欠損金に対する繰延税金資産1,233百万円を計上したことによるものであります。

この結果、第1四半期連結累計期間における売上高は6,039百万円(前年同期比2.7%減)、営業利益は26百万円(前年同期は営業損失37百万円)、経常損失は117百万円(前年同期は経常利益113百万円)、四半期純利益は896百万円(前年同期は四半期純利益58百万円)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,768百万円減少し、55,845百万円(前連結会計年度比3.1%減)となりました。この主な内容は、売上債権の回収、たな卸資産の減少、減価償却による固定資産の減少であります。純資産は933百万円減少し25,351百万円となり、自己資本比率は45.0%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、8,502百万円(前年同四半期比4,640百万円の増加)となりました。

## ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費541百万円、売上債権の回収による収入が687百万円、仕入債務の支払による支出176百万円、預り保証金の返済による支出121百万円があり662百万円の収入超過となりました。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出181百万円がありましたが、有価証券の償還による収入2,999百万円があり、2,826百万円の収入超過となりました。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額800百万円、長期借入金の返済による支出625百万円により、1,443百万円の支出超過となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、第1四半期の四半期純利益896百万円を計上いたしましたが、第2四半期には投資有価証券のうち償還期日が迫っております外国債券の売却を予定しており、その売却損失570百万円を想定しております。また第2四半期は、バーゲンを中心とする販売の期間であり収益率が低下いたしますことを踏まえ、第2四半期累計期間の業績予想は、売上高12,000百万円(前回発表予想は11,800百万円)、営業損失300百万円(前回発表予想は300百万円)、経常損失450百万円(前回発表予想は430百万円)、当期純損失50百万円(前回発表予想は380百万円)と業績予想を修正いたしております。

また、年間業績予想につきましても売上高25,800百万円(前回発表予想は25,500百万円)、営業利益750百万円(前回発表予想は800百万円)、経常利益950百万円(前回発表予想は1,000百万円)、当期純利益650百万円(前回発表予想は600百万円)と業績予想を修正いたしております。

本日別途開示いたします「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

平成22年4月1日を効力発生日として、旧株式会社ダイドーインターナショナルが旧株式会社ダイナシティを吸収合併し、株式会社ダイナシティに商号変更をいたしました。また、旧株式会社ダイドーインターナショナルの衣料品販売事業を会社分割し、その事業を新たに設立した株式会社ダイドーインターナショナルに承継するとともに、当社の100%子会社といたしました。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性に関しては、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに、前連結会計年度末からの重要な一時差異の変動を加味したものを使用方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間により、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ3百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は、152百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は190百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,502	6,481
受取手形及び売掛金	2,204	2,891
有価証券	2,022	5,017
たな卸資産	4,270	4,318
その他	2,150	1,233
貸倒引当金	△97	△32
流動資産合計	19,053	19,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,798	12,132
その他(純額)	3,595	3,541
有形固定資産合計	15,393	15,674
無形固定資産		
378	378	372
投資その他の資産		
投資有価証券	18,127	19,242
その他	3,121	2,643
貸倒引当金	△230	△229
投資その他の資産合計	21,019	21,656
固定資産合計	36,791	37,702
資産合計	55,845	57,613
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,582	1,758
短期借入金	9,831	9,820
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,625
未払法人税等	39	267
賞与引当金	102	64
その他	3,352	3,121
流動負債合計	15,908	16,658
固定負債		
長期借入金	4,000	4,000
長期預り保証金	8,753	9,005
その他	1,832	1,665
固定負債合計	14,586	14,670
負債合計	30,494	31,329

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,891	6,891
資本剰余金	8,746	8,746
利益剰余金	14,624	14,529
自己株式	△3,637	△3,637
株主資本合計	26,626	26,530
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,762	△733
為替換算調整勘定	261	263
評価・換算差額等合計	△1,501	△469
新株予約権	133	130
少数株主持分	92	92
純資産合計	25,351	26,284
負債純資産合計	55,845	57,613



(2) 四半期連結損益計算書  
【第1四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	6,209	6,039
売上原価	2,790	2,565
売上総利益	3,419	3,473
販売費及び一般管理費	3,457	3,447
営業利益又は営業損失(△)	△37	26
営業外収益		
受取利息	143	110
受取配当金	116	105
為替差益	122	—
その他	24	23
営業外収益合計	406	239
営業外費用		
支払利息	90	88
為替差損	—	5
持分法による投資損失	146	52
組織再編費用	—	212
その他	19	24
営業外費用合計	255	382
経常利益又は経常損失(△)	113	△117
特別利益		
投資有価証券売却益	260	—
その他	4	—
特別利益合計	264	—
特別損失		
固定資産除却損	3	3
減損損失	39	5
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	149
その他	9	—
特別損失合計	52	159
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	325	△276
法人税、住民税及び事業税	16	20
法人税等調整額	249	△1,191
法人税等合計	266	△1,171
少数株主損益調整前四半期純利益	—	894
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1	△1
四半期純利益	58	896

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	325	△276
減価償却費	556	541
受取利息及び受取配当金	△259	△215
支払利息	90	88
持分法による投資損益(△は益)	146	52
投資有価証券売却損益(△は益)	△260	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	149
たな卸資産の増減額(△は増加)	441	47
売上債権の増減額(△は増加)	551	687
仕入債務の増減額(△は減少)	△388	△176
その他	△260	14
小計	942	912
利息及び配当金の受取額	140	119
利息の支払額	△47	△38
特別退職金の支払額	—	△14
法人税等の支払額	△69	△316
営業活動によるキャッシュ・フロー	966	662
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	1,000	2,999
投資有価証券の売却による収入	1,598	—
有形固定資産の取得による支出	△181	△181
その他	95	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,512	2,826
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△500	—
長期借入金の返済による支出	△625	△625
配当金の支払額	△813	△800
その他	△364	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,302	△1,443
現金及び現金同等物に係る換算差額	54	△24
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,231	2,020
現金及び現金同等物の期首残高	2,630	6,481
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,861	8,502

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。